

## 資料－４

瀬戸市人口ビジョン(案)および瀬戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見募集（パブリックコメント）の実施結果

- 1 意見募集期間 平成27年12月1日から12月25日まで
- 2 意見提出人数 3人（メール2人、持参1人）
- 3 合計意見件数 13件
- 4 意見への対応
 

(1)	意見を踏まえて、案の修正を検討するもの	0件
(2)	今後の事業実施の参考とするもの	7件
(3)	意見の趣旨や内容について、考え方を盛り込み済であるもの	6件
(4)	その他（本計画案に対する意見でないもの等）	0件

### 5 意見及び市の考え方

番号	意見	市の考え方
1	<p><b>【総論】</b> このままでは、瀬戸市の存続すら危ういと、書かれた事は、評価できます。しかし、いままでの行政の反省、何がいけなかったのか、どうしてこんな風になったのか、を、具体的に検証する必要があります。</p> <p>瀬戸市における転入より転出が多いという現状は、都市間競争で負けている現実があるからと考えます。</p> <p>周辺都市と比較して、圧倒的に住みにくい町に選定されているのですから、このことを是正するには、かなりの努力が必要になります。都市間競争は企業誘致にも重要なポイントですが、当然、住民にも同じ事が言えます。</p> <p>この後の具体的な施策には、ぜひ、都市間競争を考えながら、作っていただきたいと思います。</p>	<p>次年度以降のPDCAの検証と改善の中で、参考とさせていただきます。</p>
2	<p><b>【3.1.2 外貨を稼ぐ力の創出】</b> 大学コンソーシアムの加盟大学だけではなく、世界に通用すると言われる大学（大学院）にも参加を依頼し、権威化や注目度の向上が考えられないか。</p>	<p>「しごと」づくりという戦略の実行には、大学（大学院）との連携は重要な要素だと考えておりますので、引き続き、大学コンソーシアムを中心とした教育機関への働きかけを実施してまいります。</p> <p>なお、他大学との連携については、今後の研究対象とさせていただきます。</p>
3	<p><b>【3.1.4 人材育成】</b> 地元の将来を担う人材の定着向上を目指し、上記の大学や既にある知名度の高い中高一貫校（県内外を問わず）で学ぶ地元の人材に対して、奨学金（地元への定着をある程度条件設定）を供与し育成を図り、地域の活性化を果たしてもらう。</p>	<p>奨学金制度の創設については、今後の研究対象とさせていただきます。</p>

5 意見及び市の考え方

番号	意見	市の考え方
4	<p>【3.3.1 持続的な都市に必要なインフラ整備】                      持続可能なまちづくりについて、なにが必要で、なにを目指して、どう持続可能なのか。                      中心市街地は概ねどこを指し、既存集落はどの地域を指しているのか、連携する公共交通はなにか、関連する道路はどこか、姿がおぼろげにでも浮かぶ具体性を説明するとともに、ここで言う必要な都市基盤を支えるインフラとは、道路と交通が主で、水道、下水施設等のライフラインや防災対策等は、既に整備を達成しており今回示さないですか。</p>	<p>瀬戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、第3章で基本的な方向を示し、第4章で平成28年度に取り組む具体的な政策事業を記載しております。                      なお、平成28年度に実施を予定している政策事業以外の事業については、次年度以降のPDCAの検証と改善と共に、現在、立案を進めている「第6次瀬戸市総合計画」および「都市計画マスタープラン」において明らかにしていく予定です。</p>
5	<p>【3.3.2 地産地消型介護サービスの構築】                      介護ビジネスモデルの構築は必要だと思います。                      また、視点はちがいますが、市（行政）と地域（市民）が連携とか協働ではなく、市民ではない職員も含む全ての市職員が、地域力のある地域コミュニティの活動に従事し、地域による多世代交流（高齢者の集まり場、子供の社会教育の場等）の図れる社会教育スタイルの模索を願います。</p>	<p>これまで本市が取り組んできた「地域力によるまちづくり運動」を、今後も実践してまいりますので、ご支援をお願いいたします。</p>
6	<p>【4 評価指標について】                      評価指標が基本目標ごとに評価項目が設定されているが、選定した理由、経緯等及び目標値設定の思い（根拠）等のコメントがどこかに示して頂ければ解りやすいと思えます。</p>	<p>瀬戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略（本冊）の第4章（P22～）「評価指標の設定に関する考え方」において詳しく記載しておりますので、ご確認ください。</p>
7	<p>【具体的な政策事業：産廃キラの再利用】                      瀬戸の地場産業＋中部電力の石炭灰や石膏、住友新日鐵スラジ（産廃）</p>	<p>事業実施には、関係する機関や企業との調整が必要となることから、今後の参考とさせていただきます。</p>
8	<p>【具体的な政策事業：空屋対策】                      医療介護、リハビリ、予防医学、認知症（市民病院、遊休地利用、社会福祉協議会）</p>	<p>事業実施には、関係する機関や企業との調整が必要となることから、今後の参考とさせていただきます。</p>
9	<p>【具体的な政策事業：瀬戸川の河川利用】                      財源確保（固定資産税請々、雇用創出）</p>	<p>事業実施には、関係する機関や企業との調整が必要となることから、今後の参考とさせていただきます。</p>
10	<p>【4 評価指標について】                      項目数が少ないと思えますので、方向性が多いほうが判断しやすいので5方向ぐらいでの評価項目があれば検討しやすいと考えます。</p>	<p>瀬戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略（本冊）の第4章（P22～）「評価指標の設定に関する考え方」において、戦略の実行がもたらす市民実感度を、継続したアンケート調査により数値化した定性的な評価指標と、個別の政策事業の達成度を定量的に示した評価指標の設定について記載しておりますので、ご確認ください。</p>
11	<p>【4 評価指標について】                      瀬戸市の独自性をアピールするためにも、近隣市や県内の主要な市との評価項目を比べた資料を提示されるとともに、評価において他市との類似した事業があり、相対評価が可能であれば、結果をPECAサイクルに検討を願います</p>	<p>他市の先進的な取り組みや、近隣市との比較を参考とする手法については、次年度以降に実施するPDCAサイクルの検証と改善の中で検討する課題とさせていただきます。</p>

## 5 意見及び市の考え方

番号	意見	市の考え方
12	<p>【4 評価指標について】</p> <p>市民実感度の見える化（定性的評価）では、アンケート調査により数値化とされていますが、市役所を含め多くの市の施設を個別的な用事や利用するために訪れている市民の方々に、直接会話（聞き取り）によるアンケート（1000人以上の回答）調査を実施して、より直接的な意見の聴取するとともに従来のアンケートとの総合評価を願います。</p>	<p>戦略評価指標（市民実感度の見える化）は、平成16年度から3年毎に実施してきた無作為抽出による1,000人に近い市民の皆様からご回答を頂いたデータを参考に設定しております。</p> <p>今後も、引き続き同様のデータを取ることで、次年度以降に実施するPDCAサイクルにおいて総合的な検証を実施することとしております。</p>
13	<p>【4 評価指標について】</p> <p>分野ごとの戦略評価指標の目標値はどのように、設定されたのでしょうか？</p> <p>じりつ、の2番目、市の方針や活動に関する説明や情報が公開されており、開かれた市政が推進されていると思う市民の割合を5年後に50%にしたいとされていますが、遅すぎるし、低すぎませんか。</p> <p>初めから、言っていますが、本当に危機感を持って行動されるならば、こんな目標にならないはずです。</p> <p>市の情報公開は、やる気があればすぐにでも達成できる項目で、やってもらわなければ困ります。真剣な対応を求めます。</p>	<p>戦略評価指標（市民実感度の見える化）は、平成16年度から3年毎に実施してきた無作為抽出による1,000人に近い市民の皆様からご回答を頂いたデータを参考に設定しており、政策事業等の執行度とは違う指標であることについて、ご理解をお願いいたします。</p> <p>なお、「じりつ」に関する評価指標の設定については、瀬戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略の対象期間である平成31年度までに実現可能な達成目標として掲げたものです。</p> <p>いずれにしても評価指標の設定については、次年度以降に実施するPDCAサイクルにおいて総合的な検証を実施し、必要に応じて見直してまいります。</p>

## 6 担当部署

行政経営部経営課

(電話) 0561-88-2521 (FAX) 0561-21-6607